



(新任教授)
平川 克美 先生



(新任教授)
平 浩一郎 先生

Q1

専門(研究)分野は何ですか。

株式会社論、起業論、日本経済史

Q2

今までの主なキャリア(前職等)を教えてください。

1975年 早稲田大学理工学部卒業。
大学卒業後、内田樹(神戸女学院大学名誉教授)らと、翻訳の会社である株式会社アーバントランスレーションを設立し、25年間社長を務める。株式会社リナックスカフェ社長、株式会社ラジオカフェ社長

Q3

趣味は何ですか。

空手(日本空手道松涛会五段)

Q4

どのような授業やゼミを行ないたいと思われませんか。

テキスリーディングや事例研究をふまえて、自分の頭で徹底的に考えるための授業です。ビジネス分野だけでなく、文化人類学、心理学、言語学などの知見も援用して、ビジネス上の問題を原理的に考察します。

Q5

今までの寄稿した論文や執筆した本を教えてください。

●産経新聞社 フジサンケイ・ビジネスアイ『平川克美のビジネスの流儀』2006年から2007年まで毎週連載、朝日新聞「仕事はコミュニケーション」4週連載、朝日新聞「風雅月記」H19.10.26から毎月4回連載、Fole(みずほ総合研究所)『グローバリズムにも申す』2008年1月から12ヵ月連載、月刊「地域開発」(財団法人日本地域開発センター)、文芸誌「野生時代」(角川書店)特集「お金という文学」2005年9月号にエッセイ『浦島太郎問題』寄稿、季刊「Mobile Society Review / 未来心理」11号「利便性の向こう側に見える風景」、藤原書店刊 学芸季刊総合誌「環」Vol. 32 2008.1 エマニュエル・トッド特集「イスラムとは何でないかを証明する旅」寄稿、「アキバ通り魔事件をどう読むか!?!」洋泉社ムック編集部編「直接的にか、間接的にか、あるいは何かを迂回して、「かれ」と出会う」寄稿
■反戦略的ビジネスのすすめ(洋泉社)、9条どうでしょう(毎日新聞社)、ビジネスに戦略なんていらぬ(洋泉社)、株式会社という病(NTT出版)、経済成長という病(講談社)、移行期的混乱(筑摩書房)ほか多数。

Q6

RBSの生徒に期待することは何ですか。

自分のあたまで考える楽しさを知って欲しい。

Q7

現在、興味がある研究分野があれば教えてください。

比較家族論、歴史人口学

Q8

その他、メッセージがあればよろしく願いたします。

「考える」とはどういうことを、徹底的に考えてみる。学生時代にしか許されていない時間の使い方です。書物や、コンピュータはあくまでも参考資料であり、最後は、自分の頭で考え行動する他はないと思います。

(インタビュー、編集担当: 小俣、村瀬)

Q1

専門(研究)分野は何ですか。

ホスピタリティ・マネジメント論(主にホテルビジネスにおける経営戦略論)、不動産金融論

Q2

今までの主なキャリア(前職等)を教えてください。

社会人の前半は建設会社でホテルの開発及び経営企画を中心に担当していました。後半は外資系金融機関の投資銀行部門で不動産の仕組みファイナンスのアレンジメントや建設・不動産業界の担当バンカーとして企業の直接金融やM&Aのお手伝いをさせていただいております。因みに前職ではなく、現職です。

Q3

趣味は何ですか。

少年野球の指導、ゴルフ

Q4

どのような授業やゼミを行ないたいと思われませんか。

観光立国をひとつの国家の目標としている日本において、現在のホスピタリティ業界にはマネジメントに精通されている経営者が多いとは言えません。時流を見極め正しい経営判断ができる経営者予備軍を一人でも多くRBSから送り出したいと考えており、刻一刻と状況が目まぐるしく変わるビジネスの最前線の情報を提供しながら、生徒の皆さんには経営者としての判断を訓練する機会を与えていきたいと心掛けています。

Q5

今までの寄稿した論文や執筆した本を教えてください。

主な論文としては、所属している日本観光研究学会が発行している「観光研究」でリーマンショック以降のホテル投資について寄稿させていただきました。また、10年前に当時の恩師であったTimothy J. Riddiough MIT教授と共著で不動産証券化のベースになるConduit Loanの選択要因に関する論文を米国機関投資家向けの論文誌である「Real Estate Finance」に寄稿しました。

Q6

RBSの生徒に期待することは何ですか。

社会人として忙しい中でも向上心をもってRBSに来られたと理解しています。その志を貫いて貪欲に自らを更に高めていただきたいと考えております。

Q7

現在、興味がある研究分野があれば教えてください。

二足の草鞋なので、なかなか自らの研究に費やす時間はありませんが、ホスピタリティ業界における企業金融のあり方を整理し体系化したいと考えています。

Q8

その他、メッセージがあればよろしく願いたします。

グローバル化し益々複雑化・競争激化していくビジネスの世界において、RBSでは是非自らの羅針盤を見つけていただきたいと思います。

(インタビュー、編集担当: 小俣、村瀬)